

県立高等学校適正化実施計画(案)概要

30.6.6案

コンセプト 魅力と活力あるこれからの高校づくり

1 学校再編

(1) 西の京、平城、登美ヶ丘 ⇒
(仮称)県立国際高等学校
(仮称)奈良県立大学附属高等学校

【(仮称)県立国際】(2020年開校) 現登美ヶ丘校地
・国際バカロレア認定を目指す
・県立中学校併設予定(2023年)

【(仮称)奈良県立大学附属】(2021年開校予定)
現西の京校地
・地域づくりに関する学科の設置
・奈良県立大学との高度な高大連携

(2)大淀、吉野 ⇒ (仮称)県立奈良南高等学校

【(仮称)奈良南】(2021年開校)現大淀、吉野校地
・普通科(看護・医療コース)
・総合学科(建築・森林管理等)
・(仮称)奈良県フォレストアカデミーとの連携・接続
・伝統建築専攻科(二級建築士)
・情報科(小・中・高を通じた情報教育)

(3)大宇陀、榛生昇陽 ⇒ (仮称)県立宇陀高等学校

【(仮称)宇陀】(2022年開校)現大宇陀、榛生昇陽校地
・総合学科(保育・福祉等)、介護福祉士の受験資格
・情報科(小・中・高を通じた情報教育)

2 教育内容の再編成

(1)奈良朱雀 ⇒ (仮称)県立奈良商工高等学校
・(2021年～)工業科と商業科が協働した課題研究

(2)高円 ⇒ (仮称)県立芸術高等学校
・(2021年～)普通科における複数の芸術科目必修化
やWebデザインなど情報デザインに関する学習を充実

(3)奈良情報商業 ⇒ (仮称)県立商業高等学校
・(2021年～)情報科を廃止、ネット・アンテナショップの
出店などアントレプレナーシップ教育を推進

(4)奈良北に情報に関する学科またはコース設置
・(2020年～)大学等と連携した教育課程を編成

(5)定時制・通信制課程の再編成
・通級指導の研究を実施
・(2020年～)五條高校定時制課程廃止

3 教育環境の整備

(1) 学校施設設備の整備

(2) 耐震整備を2022年度までに完了
奈良高校を平城高校跡地に移転

(3) 地域と共にある学校づくり